

# 古文ドリル：「なむ」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

## はじめに：「なむ」の4用法

古文の「なむ」は、**複数の用法**を持つ識別最頻出語。

用法	接続	訳
① 完了「ぬ」未然+推量「む」	連用形+「なむ」	～してしまうだろう
② 願望（他者）「なむ」	未然形+「なむ」	～してほしい
③ 係助詞「なむ」	体言・連体形・連用形等	強調（～こそ）
④ ナ変動詞未然+推量「む」	「死なむ」「往なむ」	死ぬだろう

### 識別の鉄則

1. **連用形+なむ** → 完了「ぬ」未然+推量「む」
2. **未然形+なむ** → 願望（他者へ）「～してほしい」
3. **体言・連体形等+なむ** → 係助詞（強調）
4. 「**死なむ・往なむ**」 → ナ変動詞

→ **直前の活用形** が決定的。

## 🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。

こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

### コツ① まず **直前の活用形** だけ見る（これで9割決まる）

「なむ」の識別は **直前** で決まる。 - 直前が **連用形**（～き／～ひ／～り など i段/e段） → **完了**  
「ぬ」未然+推量「む」（～してしまうだろう） - 直前が **未然形**（～あ／～は／～ら など a段） →  
**願望**「なむ」（～してほしい） - 直前が **体言・連体形** → **係助詞**「なむ」（強調）

→ 動詞の末尾の音で **連用形か未然形か** を判定するのが最速。

## コツ② 「死なむ／往なむ」だけは特殊（暗記しろ）

ナ変動詞「死ぬ／往ぬ」の未然形「死な／往な」＋「む」→ **ナ変＋推量「む」**。「死ぬだろう／行ってしまおうだろう」と訳す。

→ 「死なむ」「往なむ」「去なむ」を見たら即・ナ変で確定。

## コツ③ 係助詞「なむ」は文末が連体形で結ぶ

体言や連体形に「なむ」がついて、文末が連体形になっていれば **係り結びの係助詞**。例：月**なむ**清く照る／都**なむ**思ふ

→ 「なむ＋…連体形。」のリズムを見つけたら即・係助詞。

## コツ④ 訳の自然さで最終確認

迷ったら3パターンで訳してみる。 - 「～してしまうだろう」（完了＋推量）… 動作の確定的予想 - 「～してほしい」（願望）… 他者への希望 - 「～こそ」（係助詞）… 強調・係り結び

→ 文脈で最も自然な訳を選ぶ。

## 試験本番でのチェック順序

1. 「死なむ／往なむ」→ ナ変＋む（即答）
2. 直前が **連用形（i段／e段）** → 完了「ぬ」未然＋推量「む」
3. 直前が **未然形（a段）** → 願望（他者へ）
4. 直前が **体言・連体形** → 係助詞（強調）

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

## よくある引っかけ

- カ変「来」は「**こなむ**」（未然＝願望）／「**きなむ**」（連用＝完了＋推量）で形が違う
- 同じ「降りなむ」でも、上の動詞「降る」の未然「降ら」と連用「降り」で識別が変わる
- 文末が連体形で結ぶ → 係助詞のサイン（係り結びを見逃すな）

## 採点表

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

## 【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

---

---

Q1. 「なむ」を識別せよ。

春来 (こ) なむ。

---

---

Q2. 「なむ」を識別せよ。

雨降らなむ。

---

---

Q3. 「なむ」を識別せよ。

月なむ清く照る。

---

---

Q4. 「なむ」を識別せよ。

死なむ。

---

---

Q5. 「なむ」を識別せよ。

物言ひなむ。

---

---

Q6. 「なむ」を識別せよ。

君も来なむ。

---

---

Q7. 「なむ」を識別せよ。

春なむ待ちける。

Q8. 「なむ」を識別せよ。

風吹かなむ。

Q9. 「なむ」を識別せよ。

早く帰るなむ。

Q10. 「なむ」を識別せよ。

月なむ輝く。

Q11. 「なむ」を識別せよ。

心安く眠るなむ。

Q12. 「なむ」を識別せよ。

物言ひなば、咎めらる。

Q13. 「なむ」を識別せよ。

我れ往なむ。

Q14. 「なむ」を識別せよ。

知りなむ。

Q15. 「なむ」を識別せよ。

君をなむ思ふ。

Q16. 「なむ」を識別せよ。

春来なむと思ふ。

Q17. 「なむ」を識別せよ。

早く起きなむ。

Q18. 「なむ」を識別せよ。

月見なむ。

Q19. 「なむ」を識別せよ。

雨止まなむ。

Q20. 「なむ」を識別せよ。

花咲かなむ。

基礎編 / 20

## 【第2部】標準編 (Q21~Q50)

直前語と結びを意識した識別。

Q21. 「なむ」を識別せよ。

花咲きなむ。

Q22. 「なむ」を識別せよ。

風も吹かなむ。

Q23. 「なむ」を識別せよ。

我が宿なむよき。

Q24. 「なむ」を識別せよ。

早く死なむ。

Q25. 「なむ」を識別せよ。

急ぎ行きなむ。

Q26. 「なむ」を識別せよ。

子もすこやかに育たなむ。

Q27. 「なむ」を識別せよ。

我が宿なむ梅咲きける。

Q28. 「なむ」を識別せよ。

我れ往なむと思ふ。

Q29. 「なむ」を識別せよ。

早く忘れなむ。

Q30. 「なむ」を識別せよ。

月の都へ帰らなむ。

Q31. 「なむ」を識別せよ。

雪なむ降りける。

Q32. 「なむ」を識別せよ。

我れも死なむ。

Q33. 「なむ」を識別せよ。

言ひなむとすれど、声出でず。

Q34. 「なむ」を識別せよ。

故里に帰らなむ。

Q35. 「なむ」を識別せよ。

雪降る夜なむ心細き。

Q36. 「なむ」を識別せよ。

急ぎ往なむ。

Q37. 「なむ」を識別せよ。

涙落ちなむ。

Q38. 「なむ」を識別せよ。

春風吹かなむ。

Q39. 「なむ」を識別せよ。

今日なむ祭りはある。

Q40. 「なむ」を識別せよ。

早く立ちなむ。

Q41. 「なむ」を識別せよ。

主君に仕へなむ。

Q42. 「なむ」を識別せよ。

鳥も鳴かなむ。

Q43. 「なむ」を識別せよ。

雨なむ降る。

Q44. 「なむ」を識別せよ。

死なむと思へど、生きながらふ。

Q45. 「なむ」を識別せよ。

待ちなむ。

Q46. 「なむ」を識別せよ。

春来なむかしと祈る。

Q47. 「なむ」を識別せよ。

鶯なむ鳴く。

Q48. 「なむ」を識別せよ。

京へ往なむと思ひ立つ。

Q49. 「なむ」を識別せよ。

物の音聞こえなむ。

Q50. 「なむ」を識別せよ。

心安からに過ぎさなむ。

標準編 / 30

## 【第3部】 応用編 (Q51~Q80)

引っかけパターン・敬語・係り結び。

Q51. 「なむ」を識別せよ。

いと心細く、京へ帰らなむと思ふ。

Q52. 「なむ」を識別せよ。

鳥のこゑなむいとあはれなる。

Q53. 「なむ」を識別せよ。

雪深ければ往なむにも、足ふみがたし。

Q54. 「なむ」を識別せよ。

月隠れなむほどに。

Q55. 「なむ」を識別せよ。

我が思ふ人に逢はなむ。

Q56. 「なむ」を識別せよ。

都の事なむ忘れざりし。

Q57. 「なむ」を識別せよ。

いざ往なむよ。

Q58. 「なむ」を識別せよ。

涙の落ちなむを、人に見られじ。

Q59. 「なむ」を識別せよ。

春なむ来にける。

Q60. 「なむ」を識別せよ。

風吹かなむやと待つ。

Q61. 「なむ」を識別せよ。

あはれ世の中なむかなしき。

Q62. 「なむ」を識別せよ。

死なむこそ、いみじけれ。

Q63. 「なむ」を識別せよ。

早く忘れなむ。

Q64. 「なむ」を識別せよ。

我が君もすこやかにおはせなむ。

Q65. 「なむ」を識別せよ。

鶯なむ鳴きける。

Q66. 「なむ」を識別せよ。

物の音聞こえ来なむ。

Q67. 「なむ」を識別せよ。

いざ給へ、往なむ。

Q68. 「なむ」を識別せよ。

涙堰きあへぬこそ、をかしけれ。

Q69. 「なむ」を識別せよ。

春の山風吹かなむ。

Q70. 「なむ」を識別せよ。

いとさまよく言ひなむ。

Q71. 「なむ」を識別せよ。

君なむかしこき人にて。

Q72. 「なむ」を識別せよ。

山深く往なむ。

Q73. 「なむ」を識別せよ。

鶯の声聞こえなむ頃。

Q74. 「なむ」を識別せよ。

雪深く積もらなむ。

Q75. 「なむ」を識別せよ。

月の都の人なむ遣はす。

Q76. 「なむ」を識別せよ。

早く死なむと願ふ。

Q77. 「なむ」を識別せよ。

やがて出でなむ。

Q78. 「なむ」を識別せよ。

故里より便りもあらなむ。

Q79. 「なむ」を識別せよ。

雲井なむ遠き。

Q80. 「なむ」を識別せよ。

人もこそ来め、我れも往なむ。

応用編 / 30

## 【第4部】入試レベル (Q81~Q100)

難関大頻出。

Q81. 「なむ」を識別せよ。

月やなむいみじう明かき。

Q82. 「なむ」を識別せよ。

あはれ、夢のごとくに過ぎなむ。

Q83. 「なむ」を識別せよ。

心ばへ深くおはせなむ。

Q84. 「なむ」を識別せよ。

木の葉のかかりなむほどに、霜置きぬ。

Q85. 「なむ」を識別せよ。

あれなむいみじき翁にてはべる。

Q86. 「なむ」を識別せよ。

早う死なむと、頭をたたきて泣く。

Q87. 「なむ」を識別せよ。

御文遣はさなむ。

Q88. 「なむ」を識別せよ。

物言はれぬ気色を、見なむ人もあらじ。

Q89. 「なむ」を識別せよ。

雪なむ降りて、山も白かりける。

Q90. 「なむ」を識別せよ。

賢き人なむ世を捨つる。

Q91. 「なむ」を識別せよ。

我れひとり残されて、いかにせなむ。

Q92. 「なむ」を識別せよ。

今日なむ心安く侍る。

Q93. 「なむ」を識別せよ。

やがて我が身も尽きなむ。

Q94. 「なむ」を識別せよ。

死なむ命惜しまず。

Q95. 「なむ」を識別せよ。

心安く眠らなむと祈る。

Q96. 「なむ」を識別せよ。

故院なむかく仰せられし。

Q97. 「なむ」を識別せよ。

山伏に逢ひなむかすと願ふ。

Q98. 「なむ」を識別せよ。

神仏の御けしき安らけくおはせなむ。

Q99. 「なむ」を識別せよ。

いぎ、子ども、往なむ。

## 採点振り返り

- 基礎 (Q1~Q20) : /20
- 標準 (Q21~Q50) : /30
- 応用 (Q51~Q80) : /30
- 入試レベル (Q81~Q100) : /20
- **合計 : /100**

8割 (80点) 以上で入試対応レベル。

## あとがき

「なむ」識別の核心 : - **直前の活用形** で4種類を判別 - **連用形** → 完了「ぬ」未然+推量「む」 - **未然形** → 願望 (他者) - **体言・連体形** → 係助詞 (強調) - 「**死なむ・往なむ**」 → ナ変動詞未然+推量

入試の最頻出識別テーマ。活用形の見極めができれば、絶対に得点できる。

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

---

© 個別指導塾フィット / 中本裕太 <https://kotenosensei.com>